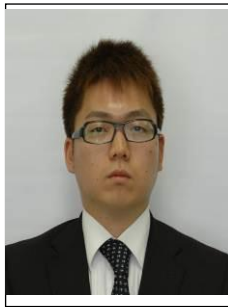
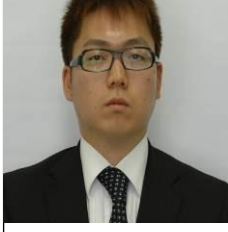


履歷書

2011 年 11 月 4 日現在



ふりがな		ほか		その		じゅん		いち		
氏 名										
<div>外園 淳一</div>										
出身地				年齢			※			
東京都				(満 28 歳)			男 ・ 女			<div>満足度</div> <div>120%</div>
参加した NICE ボランティア				分野						
国際ワークキャンプ リーダー合宿、プレス発送				町おこし						
場所		<div>①熊本県波野 ②大分県緒方</div>								<div>活動のやりがい度</div> <div>120%</div>
(国・市町村まで記入)										
受け入れ団体		NICE								

こんなボランティアでした
喜怒哀楽が激しい1年目、2年目の壁、3年目の成功、4年目の集大成。大学4年間の夏休みを全てNICEに捧げていましたね。国内のワークキャンプしか参加はしていませんが、人間的に成長出来、とても大切な何かを手に入れる事が出来ました。

年齢	経歴
18 歳	国士舘大学 21 世紀アジア学部入学。1 期生。（開さんの授業で NICE に運命の出会い）
18 歳	大学最初の夏、初のワークキャンプ（波野）に参加
19 歳	キャンプが好きになり、波野に 2 年連続の参加
20 歳	キャンプが癖になり、波野に 3 年連続の参加
21 歳	大学最後の夏休み集大成として大分県緒方の初キャンプリーダーを務める
22 歳	大手食品メーカーに就職 キャンプ忘れられず夏は波野に部分参加していた。
25 歳	4 歳年下の妻と結婚
27 歳	自分のやりたいことを考え企業を退職（脱サラってやつですね）
27 歳	三重県熊野市地域おこし協力隊に着任
28 歳	現在にいたる
趣味・特技	スポーツ観戦、旅行など
座右の銘	断固たる決意
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
ボランティアはワークキャンプのみ。	
旅行は海外、国内各所に行っています。	

記入上の注意 1:鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2:数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

3：※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
正直言えば、開さんの授業の単位取得が目的です。だって、4単位取得は大きな魅力でしたから。
それが最初の志望動機ではあるものの、その後は完全にワークキャンプの魅力に取りつかれ大好きになりました。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
英語、見知らぬ人（日本人、外国人問わず）とのコミュニケーションが心配でした。
両方とも積極的にならないとダメでしたね。待っていても何も始まりませんでした。
今思えば、受身＝逃げでした。それを自分の理解した3年目は積極的にコミュニケーションを図り、大きな壁を乗り越える事が出来たと思います。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）
家族＝快く送り出してくれました。その時の事を聞くと「楽しそうだった」と今でも言われます。
飛行機代はだいぶお世話になりました・・・・・・(感謝)

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
ワークキャンプの経験が今の仕事をするキッカケになりました。あの時の経験をどうにか活かしたい、もう一度あの充実した日々を取り戻したいと思いましたね。地域によって、人も習慣も文化も違います。
ただ、その中で私を支えているのはあの時の経験とか思い出とか友人ですね。少しでも地域を元気に。
それを目指して日々奮闘中です。そして、こういった場所も日本にあるんだという事を若い人に伝えていきたいと思います。過疎に悩む地域はNICE会員の皆様のような「力」を求めていますから。
本当にワークキャンプとNICEは人生で大きなターニングポイントになりました。

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている□人へ、熱いメッセージを♪
	今の若い人には「ゆとり教育の弊害」なんて言われる言葉があると思います。その言葉をぶち壊す行動力を持ってください。人とのコミュニケーションも大切にしてください。仲間内も大切ですが、地域の人々（目上の方々）と話す事も重要で無駄ではありません。何かそこから人生の大きなヒントになる言葉が出る可能性がありますよ。ワークキャンプは地域や国の為に頑張る物ですが、結果として自分自身の成長に繋がると 생각합니다。積極的に参加をして自分磨きをしてください。キャンプで会おう仲間は大切にしてくださいね。

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）